



かすみがうら市ゼロカーボンシティ宣言

近年、異常気象が世界各地で発生しており、日本でも豪雨や猛暑が頻発するなど、地球温暖化による気候変動は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。この事態を受けて、国は、2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、今後、徹底した省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの導入などの取り組みを進め、カーボンニュートラル社会の実現を目指していくこととしています。

かすみがうら市は、わが国第2位の面積を誇る湖「霞ヶ浦」と筑波山系南麓にはさまれた、自然豊かな田園都市であり、この風土は永く人と自然が共生し培われてきました。本市では、環境基本計画を策定し、行政・市民・事業者・滞在者が連携しながら、将来に向けて市民が健康で文化的な生活を営むことができる良好な環境の確保を進めています。

自然の風を動力として帆を張り、豊かな景観と生業をもたらした帆引き船のように、自然環境に過度な負荷をかけず、人と自然が寄り添い共生することで、災害の少ないまち、自然を活かした産業のまちが成り立ちます。

本市は、かすみがうらの素晴らしい環境を将来へ引き継いでいくため、再生可能エネルギーの地産地消とともに省エネルギー活動に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言します。



令和5年5月3日

かすみがうら市長 宮嶋謙